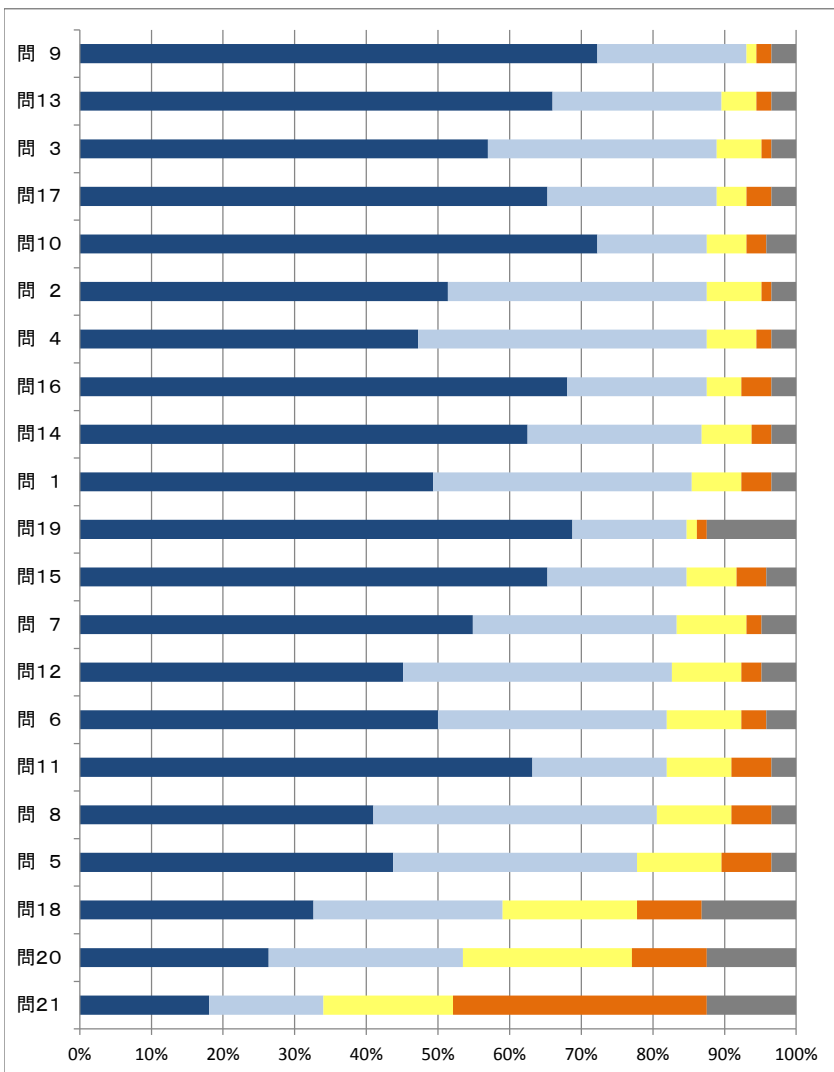


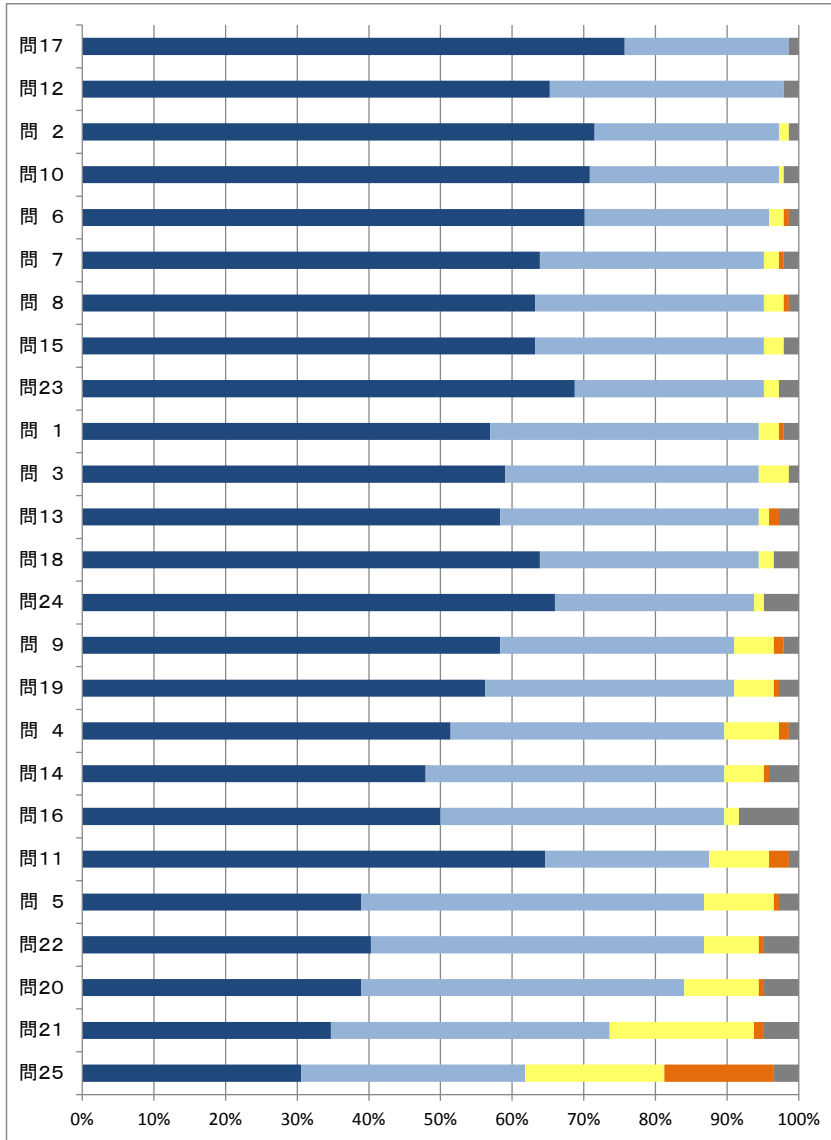
平成27年度 大阪府立たまたがわ高等支援学校教育自己診断アンケート 集計結果

平成27年度 学校教育自己診断アンケート(生徒)



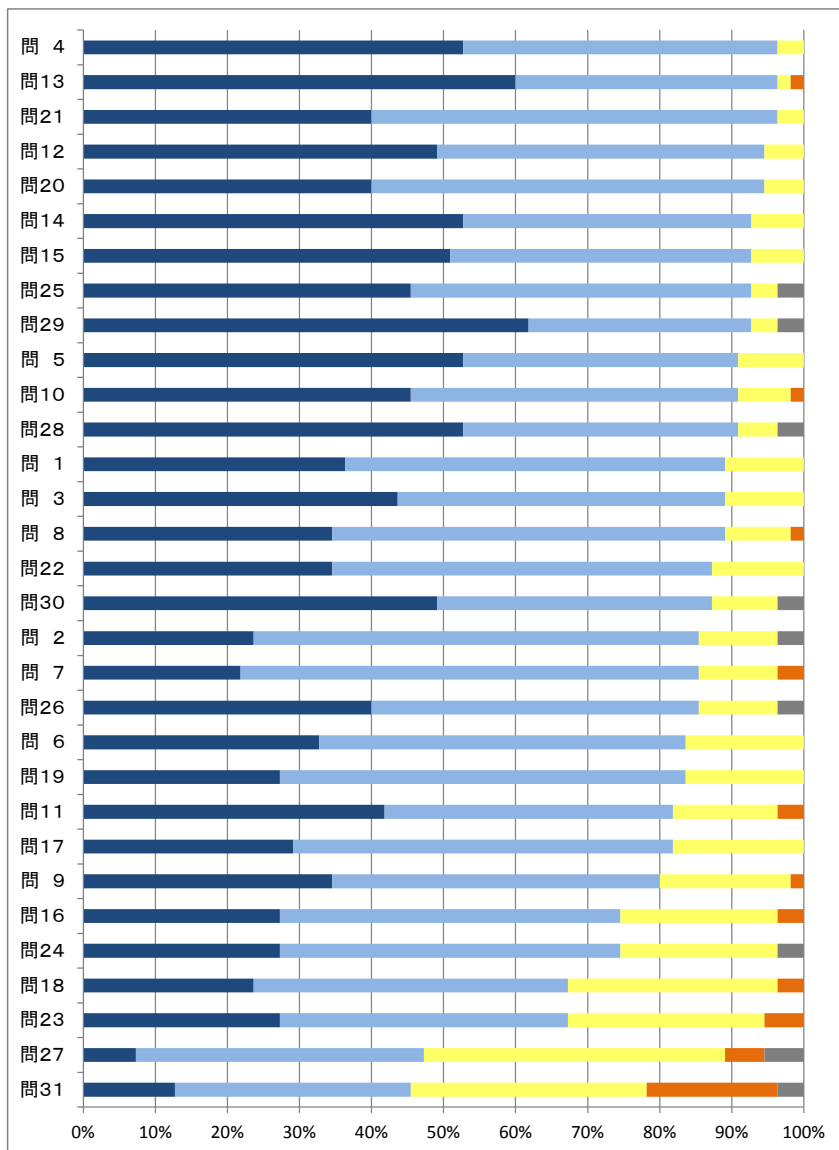
	診 断 内 容
問 9	卒業後の進路、仕事について考える授業がある
問13	いのちの大切さや社会のきまりについて学習することがある
問 3	先生は授業を工夫して、よくわかるように教えてくれる
問17 ↓	教室やとくべつ教室・体育館などは授業や生活がしやすいようにととのっている
問10	たまたがわフェスティバルやバックツアー・宿泊行事など学校行事はたのしい
問 2	先生はわたしたちの言うことをよく聞いてくれる
問 4 ↑	先生はわたしたち一人ひとりのことや障がいのことをわかってきている
問16 ↓	地震や火事などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている
問14 ↑	先生は、自分や友だちがはずかしいことやいやなことにあわないように気をつけていてくれる
問 1	学校へ行くのが楽しい
問19 ↓	授業でコンピュータを使うことがある
問15	先生は、学校で体罰がないように、気をつけている
問 7	先生は、私たちが頑張っていることや困っていることを取り上げてくれる
問12	授業でゆたかな心や人の生き方について考えることがある
問 6	授業でわからないことは、先生にききやすい
問11 ↓	委員会活動や部活動に積極的に参加している
問 8 ↑	先生は約束を守ってくれるし、なんでも相談できる
問 5 ↓	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある
問18	担任の先生以外にも、保健室や生徒会室で気軽に談ずることができる先生がいる
問20 ↓	授業や行事で近くの学校や近所の人と交流することがある
問21 ↑	学校のホームページを見ることがある

平成27年度 学校教育自己診断アンケート(保護者)



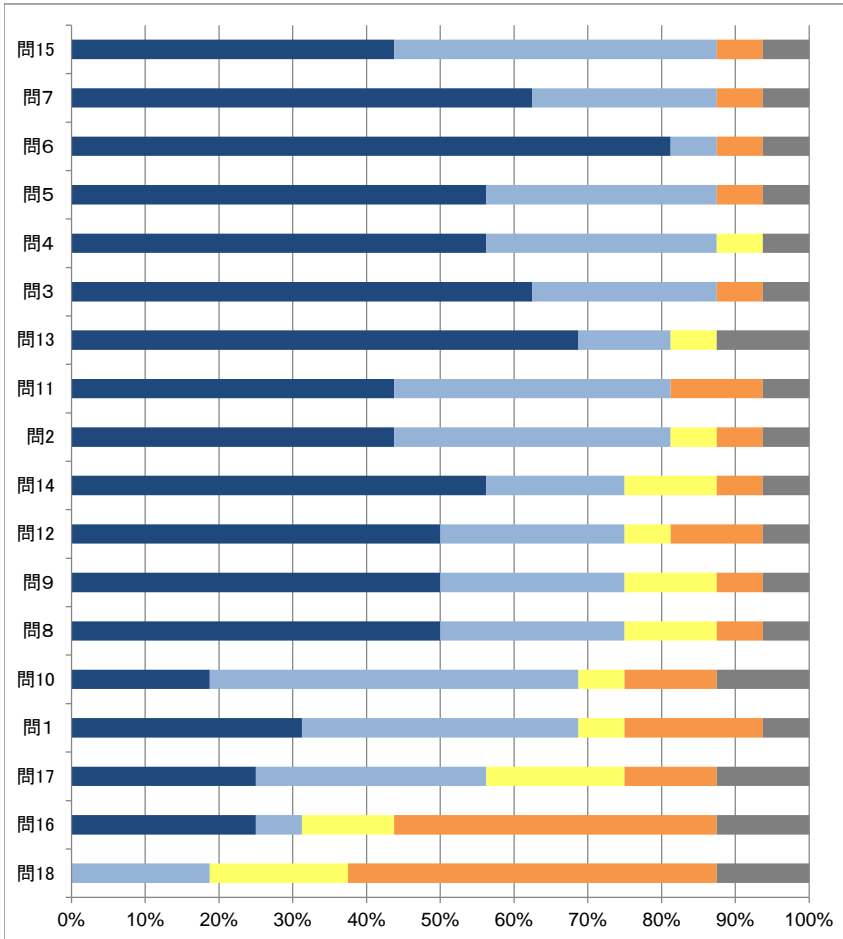
	診断内容
問17	学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている
問12	学校は、生命を大切にすることや、社会のルールを守るための指導を行っている
問2	学校は、進路や職業について適切な指導を行っている
問10	たまたわフェスティバルやバックツアー・宿泊行事や修学旅行などの学校行事は、参加しやすいように工夫されている
問6	学習の内容・学校生活の様子を懇談や学級(学年)通信、連絡帳などによって、知ることができる
問7	教職員は、子どもの学習状況や努力を適切・公平に評価している
問8	教職員は、いじめのない学習集団づくりに取り組んでいる
問15	学校からは、地震や台風などの場合の対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている
問23	個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている
問1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている
問3	学校は保護者のニーズを踏まえて、特色のある教育活動に取り組んでいる
問13	教職員は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重した指導を行っている
問18	学校では、子どもに関するプライバシーが守られている
問24	個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている
問9	保護者は、子どもの心身の健康や障がいの状況について、気軽に学校に相談できる
問19	学校は、文書や学校ホームページを用いて、保護者や地域へ適切な情報発信や意思疎通を行っている
問4	教職員は、子どもの障がいについて理解している
問14	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されている
問16	学校は、施設・設備の点検、事故防止に配慮している
問11↑	子どもは、積極的に委員会活動や部活動に参加している
問5	子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている
問22↓	学校ではPTA活動が活発に行われている
問20	学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を持っている
問21	学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている
問25	学校のホームページを見ることがある

平成27年度 学校教育自己診断アンケート(教職員)



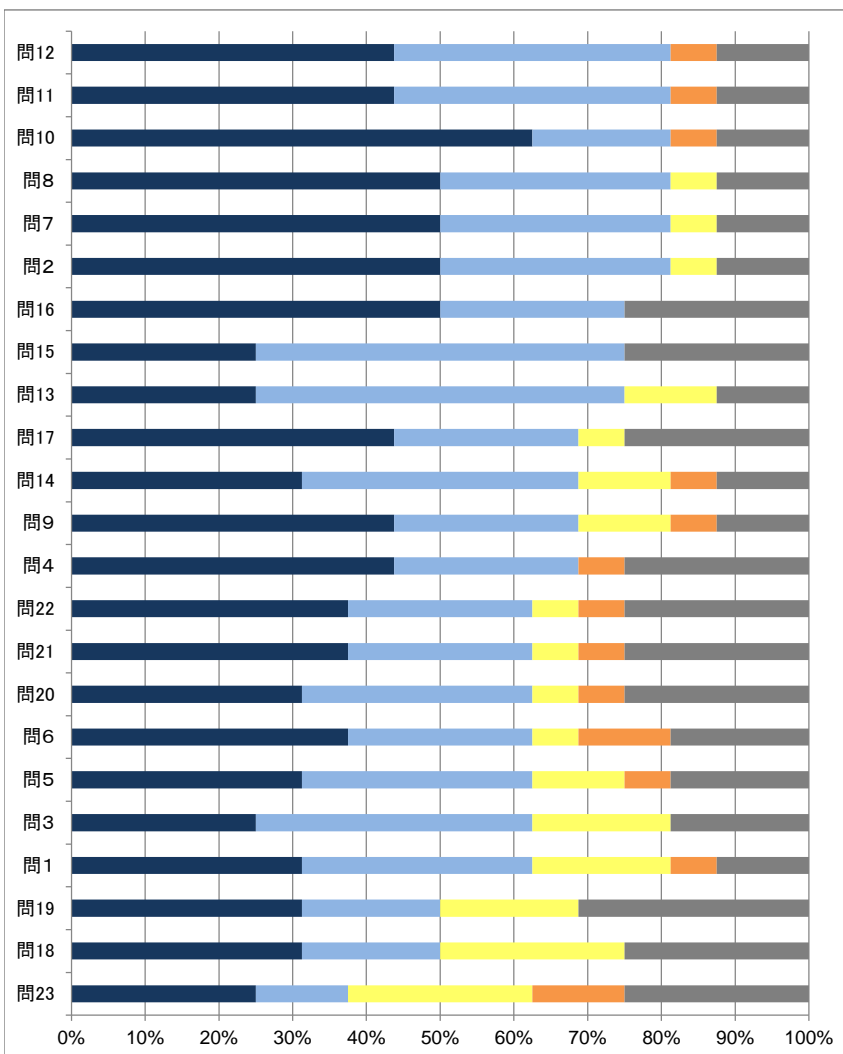
No.	0
問 4	学校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている
問13	学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている
問21↑	施設・設備について日常的に点検や管理が行われている
問12	教育活動において、生徒が命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会をつくるよう配慮している
問20	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている
問14↓	生徒一人ひとりの人権が守られ、体罰やセクシュアル・ハラスメントを防止するための教職員連携が図られている
問15↓	学校の諸活動において安全指導が徹底している
問25	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している
問29	個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成し、保護者に開示し説明している
問 5	指導内容については、生徒の実態に合うように、教職員間で話し合いがもたれている
問10	生活指導において、家庭や関係機関との連携ができています
問28	個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している
問 1	学校の教育について、教職員で日常的に話し合っている
問 3	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている
問 8	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生活指導を行っている
問22	コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている
問30	個別の指導計画ならびに個別の教育支援計画と教育課程、通知等との関連を明確化している
問 2	教育課程の編成に当たって学習指導要領の趣旨が生かされている
問 7	自立活動指導に当たっては、生徒が興味をもって主体的に取り組めるよう工夫している
問26	教育活動に必要な情報について、文書や学校ホームページ、生徒・保護者や地域への周知に努めている
問 6	学習形態の工夫・改善・評価の在り方について話し合う機会がある
問19	この職場においては教職員の服務規律への自覚が高い
問11↓	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている
問17	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、会議の内容も学校運営に反映されている
問 9↓	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員とも相談することができる
問16↓	学校運営に、校長のリーダーシップが発揮されており、教職員の意見が反映されている
問24↓	教員の間で授業方法等について検討する機会を持っている
問18↓	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談しあえるような職場の人間関係ができています
問23↓	校内研修等を通して、初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている
問27↓	教職員はPTA活動に参加している
問31↑	ライフワークバランスはとれている

平成27年度 学校教育自己診断アンケート(共生生徒)



	診断内容
問15	教室やとくべつ教室・体育館などは授業や生活がしやすいようにととのっている
問7	先生は、私たちが頑張っていることや困っていることを取り上げてくれる
問6	授業でわからないことは、先生にききやすい
問5	授業で自分の考えをまとめたり、発表することがある
問4	先生はわたしたち一人ひとりのことや障がいのことをわかってきている
問3	先生は授業を工夫して、よくわかるように教えてくれる
問13	先生は、学校で体罰がないように、気をつけている
問11	いのちの大切さや社会のきまりについて学習することがある
問2	先生はわたしたちの言うことをよく聞いてくれる
問14	地震や火事などがおこった時、どうしたらよいかを教えてもらっている
問12	先生は、自分や友だちがはずかしいことやいやなことにあわないように気をつけていてくれる
問9	卒業後の進路、仕事について考える授業がある
問8	先生は約束を守ってくれるし、なんでも相談できる
問10	授業でゆたかな心や人の生き方について考えることがある
問1	たまがわ高等支援校へ行くのが楽しい
問17	設置校の先生だけでなく、たまがわ高等支援学校本校の先生にも、気軽に相談できる先生がいる
問16	授業でコンピュータを使うことがある
問18	たまがわ高等支援学校のホームページを見ることがある

平成27年度 学校教育自己診断アンケート(共生保護者)



	診断内容
問12	教職員は、すべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている
問11	たまがわ高等支援学校は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にすることや社会のルールを守る態度を育てようとしている
問10	子どもは、積極的に授業等に参加している
問8	教職員は、いじめのない学習集団づくりに取り組んでいる
問7	教職員は、子どもの学習 状況や努力を適切・公平に評価している
問2	たまがわ高等支援学校は、進路や職業について適切な指導を行っている
問16	たまがわ高等支援学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている
問15	たまがわ高等支援学校は、施設・設備の点検、事故防止に配慮している
問13	たまがわ高等支援学校は、学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている
問17	たまがわ高等支援学校では、子どもに関するプライバシーが守られている
問14	たまがわ高等支援学校からは、地震や台風などの場合の対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている
問9	たまがわ高等支援学校は、子どもの心身の健康や障がいの状況について、気軽に学校に相談できる
問4	教職員は、子どもの障がいについて理解している
問22	個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている
問21	個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、適切な説明を行っている
問20	たまがわ高等支援学校は、子どもが他の学校の子どもたちと交流する機会を設けている
問6	学習の内容・学校生活の様子を懇談や学級(学年)通信、連絡帳などによって、知ることができる
問5	子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている
問3	たまがわ高等支援学校は保護者のニーズを踏まえて、特色のある教育 活動に取り組んでいる
問1	子どもはたまがわ高等支援学校へ行くのを楽しみにしている
問19	たまがわ高等支援学校は、保護者や地域の人たちから意見を聞く機会を持っている
問18	たまがわ高等支援学校は、文書や学校ホームページを用いて、保護者や地域へ適切な情報 発信や意思疎通を行っている
問23	たまがわ高等支援学校のホームページを見ることがある